

WindowsOS 用 Dr.Web アンチウイルス Dr.Web Security Space

Dr.Web Firewall の使い方

Doctor Web Pacific
2013 年 8 月

目次

1. はじめに.....	2
2. そもそも”Firewall”とは.....	2
3. Dr.Web Firewall の通信監理方法.....	2
4. Dr.Web Firewall による[通信が発生したことを知らせる通知]と設定方法.....	3
4.1 通信ブロック 1) パソコンの起動時.....	3
4.2 通信ブロック 2) アプリケーションの動作時.....	5
5. Dr.Web Firewall を一時的に無効にする.....	7
6. Dr.Web Firewall をアンインストールする.....	10

1. はじめに

本書では、WindowsOS 用 Dr.Web アンチウイルス、及び Dr.Web Security Space に含まれている Dr.Web Firewall コンポーネントをインストールし、使用方法を説明しています。

2. そもそも”Firewall”とは

そもそも Firewall とは、インターネットなどのネットワーク通信において、PC における送受信の通信を全て遮断し、許可したもののみを通過させる 機能です。

弊社 Doctor Web 製品に限らず、WindowsOS も Windows Firewall という機能を提供していますが、提供している会社によって通信をブロックする方法や、許可をする方法が異なります。Windows Firewall の場合、WindowsOS が提供するサービス単位での許可設定を行うことが可能です。

3. Dr.Web Firewall の通信監理方法

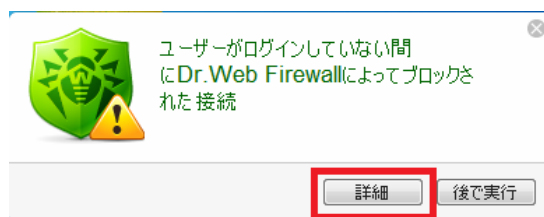
Dr.Web Firewall は、アプリケーション（実行ファイル）単位、プロセス単位で通信の許可設定を行います。1 度のみ通信を許可したり、ルールを作成することで継続して通信を許可することができます。

Dr.Web Firewall はお客様が許可をした通信のみを通します。その為、仮にパソコンにウイルスが侵入しウイルスがインターネット上の犯罪者のサーバと通信（お客様の個人情報を送信しようとするなど）を行おうとしても、通信は必ずブロックされます。**[通信が発生したことを知らせる通知]**が表示されますので、それによってお客様は「怪しい通信が発生した」ことを知ることができ、ウイルスへの感染に気付く迅速に対応を行う事ができます。

4. Dr.Web Firewall による[通信が発生したことを知らせる通知]と設定方法

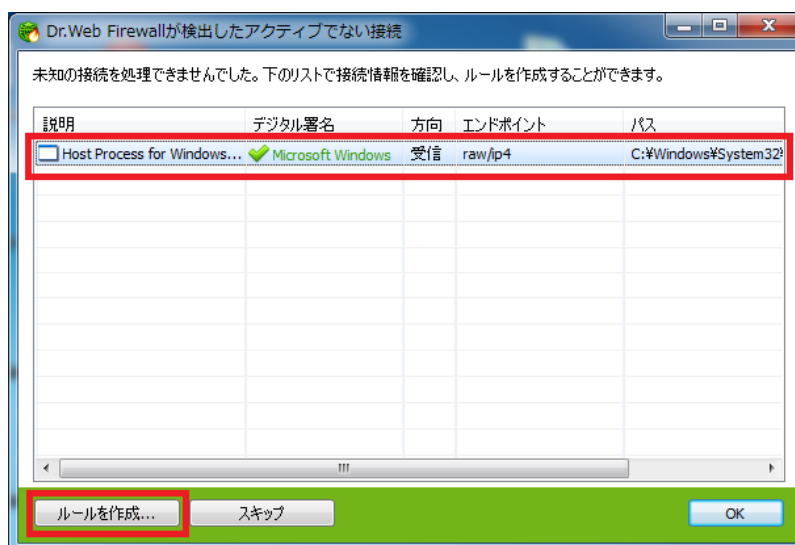
4.1 通信ブロック 1) パソコンの起動時

パソコンを起動するとき、Windows、および Windows にインストールされているアプリケーションは、通信を行う複数のプログラムを起動します。Dr.Web Firewall はそれらの通信も一時ブロックし、[通信が発生したことを知らせる通知]を表示します。



図① OS 起動時に通信が発生したことを知らせる通知

「詳細」ボタンを押すと、ブロックした通信の詳細画面が表示されます。



図② ブロックした通信一覧画面

ブロックした通信ひとつひとつに「ルール」を作成します。ルールを作成する通信を 1 つ選び（マウスの左ボタンでクリックすると選択状態になります）、「ルールを作成」を押します。

上記の図ではブロックした通信は 1 つのみ表示されていますが、複数表示される場合があります。ルール作成は 1 つずつしかできませんので、1 つずつ選択して作成してください。

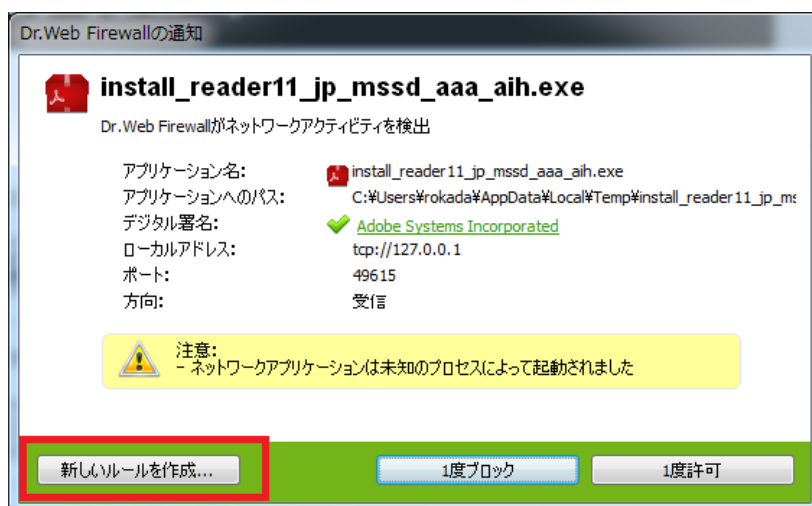


図③ ルール作成画面

ルール作成の画面です。「既定のルールを適用」にチェックが入っていることを確認し、「OK」を押してください。(ブロックした通信が複数ある場合は、図②の画面に戻ります)

4.2 通信ブロック 2) アプリケーションの動作時

インターネットの閲覧（ウェブブラウジング）や、メールの送受信だけではなく、アプリケーションを起動すると多くのアプリケーションはインターネット上のサーバと通信を行います。Dr.Web Firewall はそれらの通信も一時ブロックし、[通信が発生したことを知らせる通知]を表示します



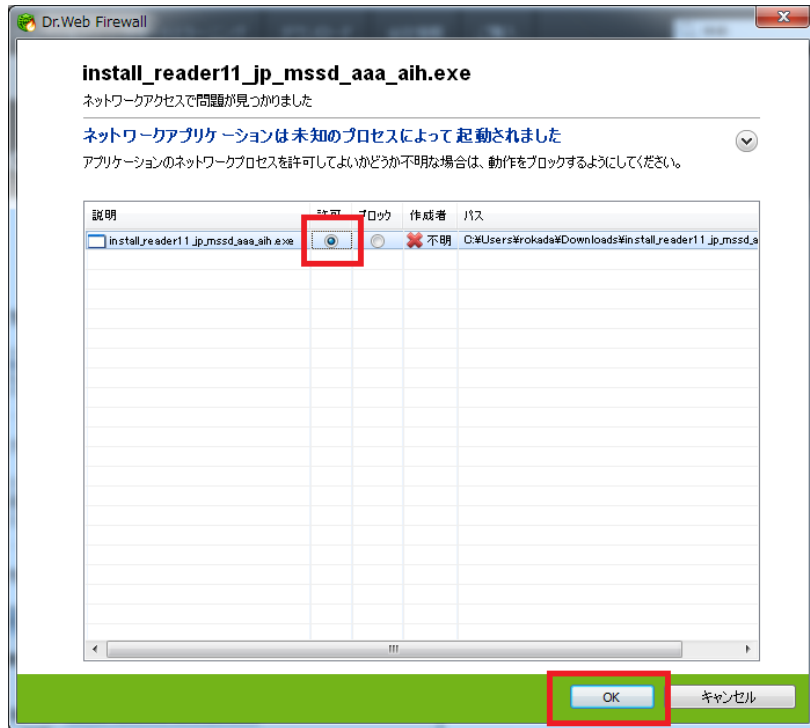
図④ 通信が発生したことを知らせる通知

1度許可: 一度だけ通信を許可します。次にまた同じ通信が発生した場合、通信をブロックし通知を表示します。

一度ブロック: 今回だけ通信を完全にブロックします。次にまた同じ通信が発生した場合、通信をブロックし通知を表示します。

新しいルールを作成: 通信許可を行うルールを作成します。次にまた同じ通信が発生した場合は、作成されたルールに従って通信を制御します。

起動しているアプリケーションが通信を行うと、図④の通知画面が表示されます。「新しいルールを作成」を押してください。



図⑤ ルール作成画面

「許可」のチェックボックスにチェックを入れ、「OK」を押してください。
ルールが作成され、ルールに従って通信への制御が行われます。

5. Dr.Web Firewall を一時的に無効にする

Dr.Web Firewall を一時的に無効にする方法をご案内します。

タスクバーに、Dr.Web アイコンが表示されています。

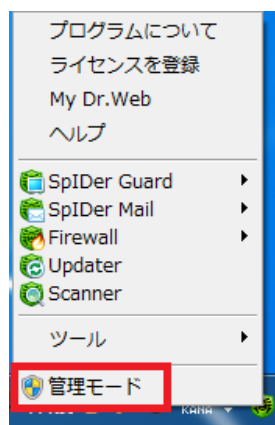
見つからない場合は、△ボタンを押すと隠れたインジケータ内に表示されています。

Dr.Web アイコンの上でマウスの左ボタンをクリックしてください。コンテキストメニューが表示されます。 ※XP をご利用の場合は、直接図⑨が開きます。



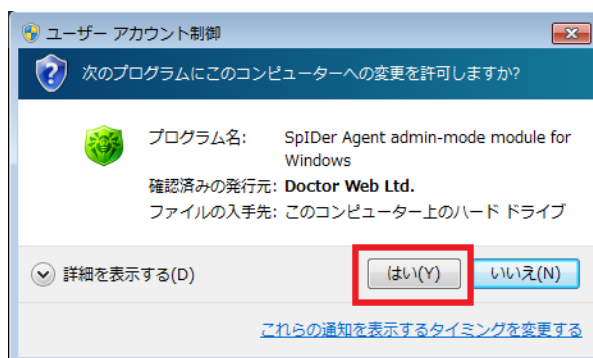
図⑥ タスクバーの Dr.Web アイコン

「管理モード」を押してください。



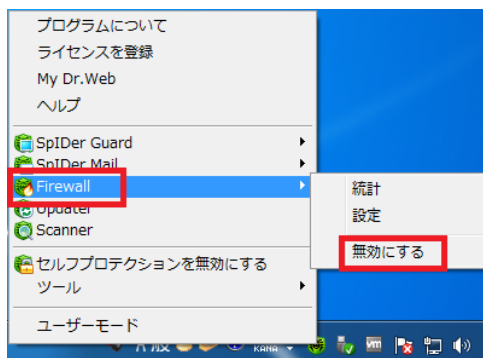
図⑦ コンテキストメニュー（ユーザモード）

ユーザアカウント制御が表示されますので「はい」を押してください。



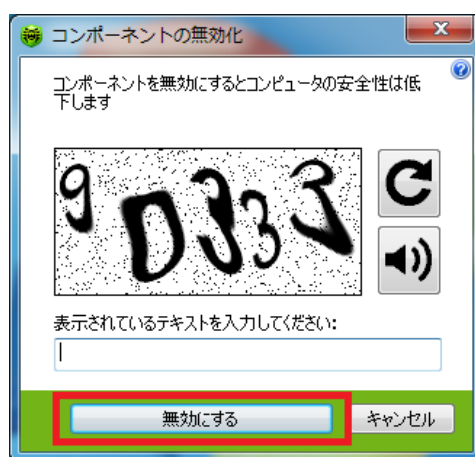
図⑧ ユーザアカウント制御画面

再度タスクバーの Dr.Web アイコンでマウスの左ボタンを押してください。
※XP をご利用の場合は「ユーザモード」とは表示されていません。




図⑨ ファイアウォールを無効にする

「Firewall」にある「無効にする」を押してください。認証画面が表示されます。

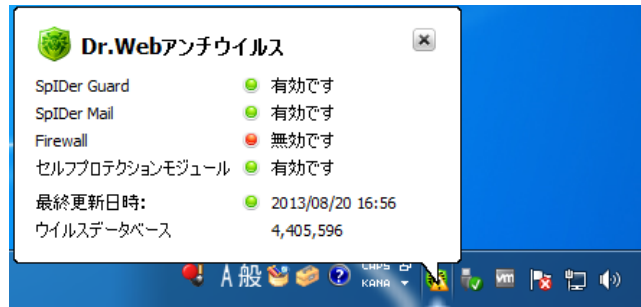


図⑩ 認証画面

歪んだ数字を読み取り入力欄に入力後、「無効にする」を押してください。

Dr.Web Firewall が無効になると、タスクバーの Dr.Web アイコンが  のように黄色い！マークが付きます。

タスクバーの Dr.Web アイコンの上でマウスの右ボタンを押すと、図⑩のように表示されま
す。



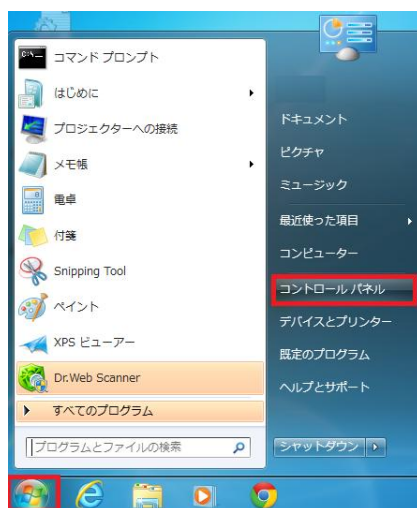
図⑪ Dr.Web コンポーネントの状態

Dr.Web Firewall を無効にしても OS を再起動すると有効の状態では起動してきます。OS 起動時に Dr.Web Firewall 無効にする方法はありません (Dr.Web Firewall をアンインストールする必要があります)。

6. Dr.Web Firewall をアンインストールする

Dr.Web Firewall のみをアンインストールします。(アンチウイルス機能はインストールされたままです)

画面左下にあるスタートボタンを押し、「コントロールパネル」を押します。

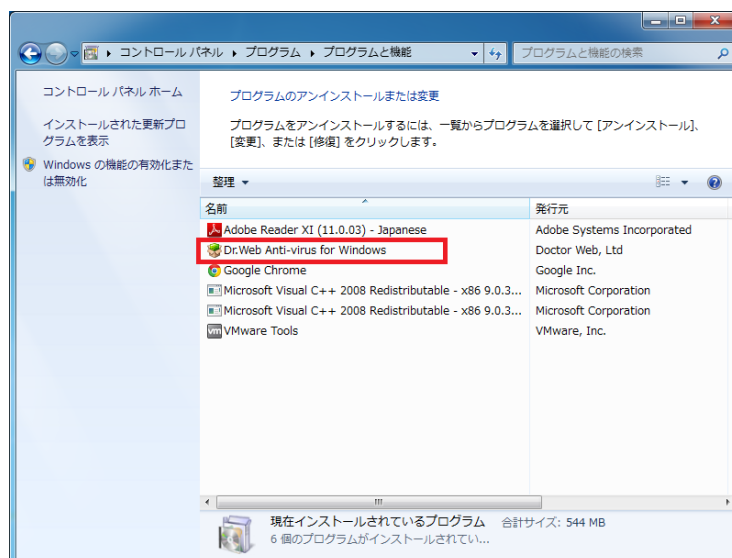


図⑫ スタートメニュー

コントロールパネル画面が開きます。表示方法が「カテゴリ」となっていることを確認します。「カテゴリ」になっていない場合は、▼を押してリストから「カテゴリ」を選んでください。「プログラムのアンインストール」を押してください。

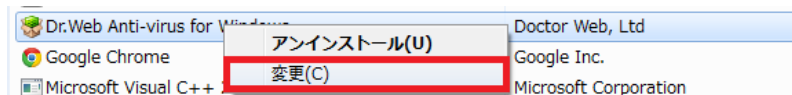


図⑬ コントロールパネル画面



図⑭ プログラムと機能の画面

パソコンにインストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。その中から「Dr.Web Anti-Virus for Windows」を探し、マウスのカーソルを合わせてマウスの右ボタンを押してください。「変更」を押してください。



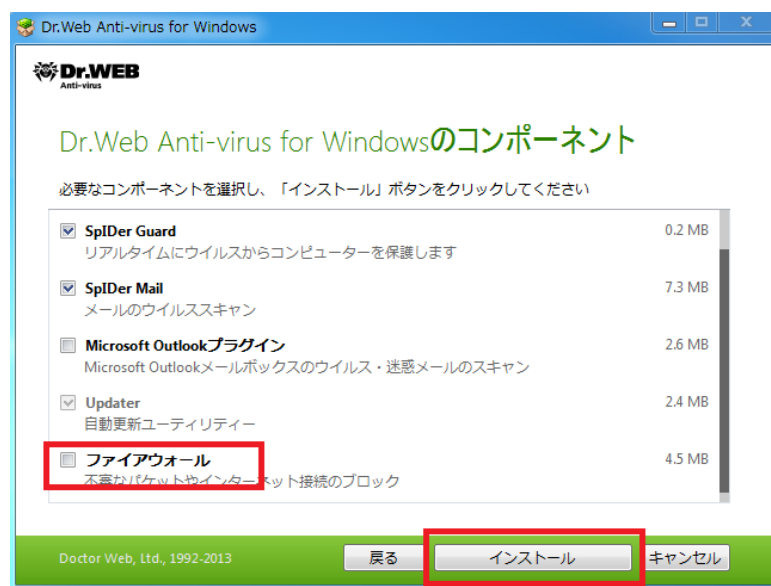
図⑮ マウスの右ボタン押下時

Dr.Web のメニューが表示されます。



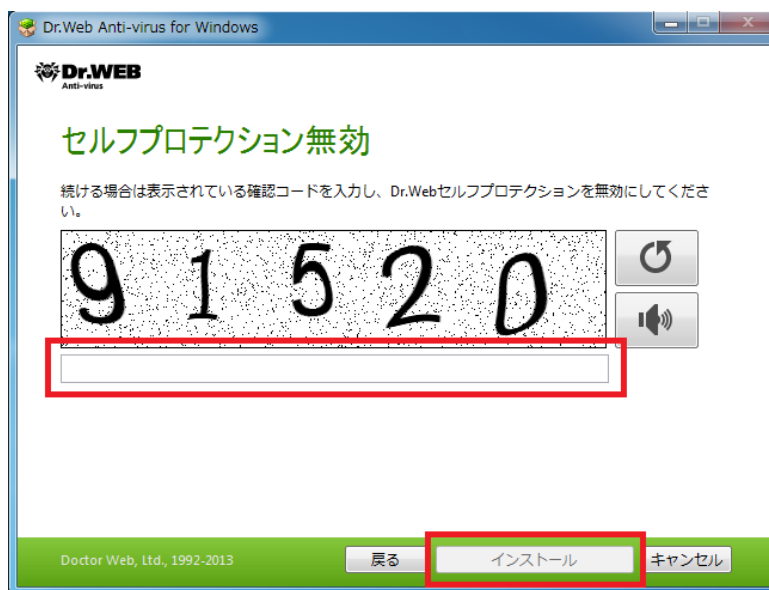
図⑯ Dr.Web のコンポーネント削除・変更画面

「コンポーネントの変更」を押してください。



図⑰ コンポーネント一覧画面

リストの一番下に「ファイアウォール」と記載されています。「ファイアウォール」の横のチェックボックスのチェックを外し、「インストール」を押してください。



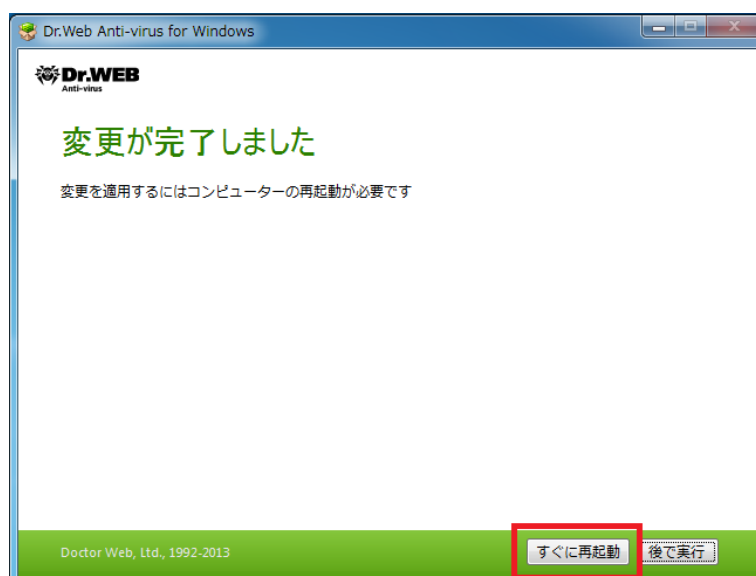
図⑱ 認証画面

認証画面が表示されます。数字を読み取り入力欄に入力後、「インストール」を押してください。



図⑲ 変更作業中の画面

作業が全て終了するまで数分かかります。



図⑳ 変更終了画面

作業が終了しました。「すぐに再起動」を押してください。PCが再起動されます。

以上